

地域材の活用に向けた人材育成研修会（第4回）について

1. 開催日時 平成24年2月27日（月） 午後2時～午後6時
2. 開催場所 釧路工業技術センター 2F会議室
3. 参加人数 24名
4. 研修会の概要
 - ・ 地域材の活用に向けた人材育成研修会の第4回目。
 - ・ 木材塗装研究会 運営委員長澤良一氏により、「知っているようで知らない木材塗装の話」と題した講演が行われた。講演では、「木材塗装はなぜ難しいと言われるのか?」、「木材塗装における内装と外装の違い」、「建築木部塗装用水性塗料の現状」などの説明があった。
 - ・ 説明では、針葉樹と広葉樹（広葉樹の中でも環孔材、散孔材）の特徴をあげ、それぞれの木質材料にふさわしい塗装方法があること、仕上げ方法により生地の風合いが大きく変わり、クレームにもつながること、などの留意点があげられ、塗装済みの板を展示・回覧し、視覚や触覚などにより体感できる形式での講義となった。
 - ・ さらに話題提供として、古くからの日本の染色技法（日光東照宮陽明門の建造された時点での色・木材染色技法）についても、当時の染色を再現した板を用いながらの説明がなされた。
 - ・ 説明後、キタヂカラ木材店、キャピタルペイント株式会社の協力のもと、参加者による水性塗料の塗装実演を行った。



<長谷川川下部会長による挨拶>



<講義の様子>



<講師の長澤氏>



<塗装実演の様子>